R12/134a 兼用簡易ガスチャージキット 取扱説明書

この度は、R12/134a 兼用簡易ガスチャージキットをお買い上げいただき、誠に有難うございます。
製品をご使用になられる前にこの取扱説明書を良くお読みになり、正しく安全にご使用ください。

⚠ 安全に関するご注意

●障害事故防止の為、使用前に必ずこの取扱説明書をよく読み、ご理解ください。
●本製品の目的外使用及び改造は絶対にしないでください。指定の冷媒以外の使用はしないでください。
本製品の故障や重大な人身事故をまねく恐れがあります。
●本製品の使用中は監視できる範囲内で作業をおこない、周囲の安全を確認してください。
●付属品及び修理部品は指定されたものをお使いください。本製品故障の原因や接続不良を起こし、
重大な人身事故や損害事故の原因になります。
●ホースを傷付けたり破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。
また、重い物を乗せたり、挟みこんだりしないでください。ホースが破損し、
冷媒が噴射し重大な人身事故や損害事故の原因になります。
●ホース等の接続は確実に行ってください。ホース等の接続部分がゆるむか、外れて、冷媒が噴射し
重大な人身事故や損害事故の原因になります。冷媒で凍傷になる恐れがあります。

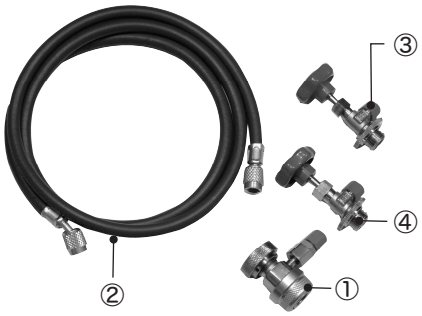
⚠ 警　告

●過労・病気・薬物の影響、その他の理由により作業に集中できない時、酒を飲んだ時、妊娠している時は
絶対に行わないでください。
●作業時は安全靴・ヘルメット・保護めがね・保護服・保護マスク・保護皮手袋を着用してください。
重大な人身事故や損　害事故の原因になります。
●閉所作業の場合、喚起等に充分注意してください。酸欠事故や中毒事故の原因になります。
●ご使用前に、本製品及び付属品に異常や亀裂・損傷が無いかを確認してください。
損傷・亀裂があると爆発の危険性がありますので、異常のある場合は絶対に使用しないでください。
●作業は高圧ガス保安法及び車両メーカーよりのサービスマニュアルに従い行ってください。
重大な人身事故や損害事故の原因になります。

セット内容

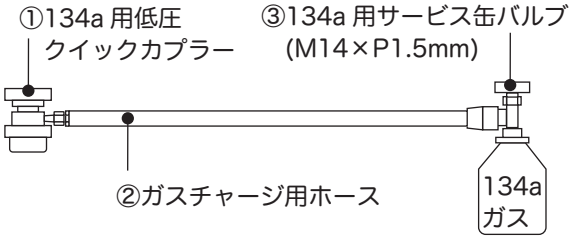
〈対応冷媒ガス〉
●134a　●R12

※輸入車には
対応しておりません。



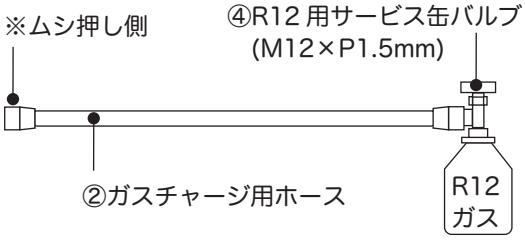
①134a 用低圧クイックカプラー
(シャットオフバルブ付) 1 個
②ガスチャージ用ホース
（1.5m） 1 本
③134a 用サービス缶バルブ (赤)
(M14×P1.5mm) 1 個
④R12 用サービス缶バルブ (青)
(M12×P1.5mm) 1 個

134a 接続図 ①+②+③+134a 冷媒ガス



※注意 !! 誤った接続、誤った冷媒ガスを充填すると
エアコンシステムが故障いたしますので、必ず作
業前に対応ガス、接続方法確認をしてください。

R12 接続図　②+④+R12 冷媒ガス



※注意 !! 誤った接続、誤った冷媒ガスを充填すると
エアコンシステムが故障いたしますので、必ず作
業前に対応ガス、接続方法確認をしてください。

134a 冷媒ガス充填方法

1.①低圧用クイックカプラーと、②チャージングホース、③サービス缶バルブにガス缶にセットしてください。
※②チャージングホースはムシ押しのある方に①低圧用クイックカプラーを接続してください。
※ガス缶は封を切らない状態でセットし、低圧用クイックカプラーのバルブは閉じたままにしてください。
2.①低圧用クイックカプラーを車両のエアコンシステムの低圧サービスポートに接続します。
その際クイックカプラーのバルブ部分を軽く引っ張り、外れないか、確実に接続できているか確認します。
※確実に接続できていないとケガや故障の原因となります。
3.①低圧用クイックカプラのバルブを開き、③サービス缶バルブと②チャージホースの接続部をゆっくりとゆるめて
チャージングホース内のエアー抜きをして下さい。
※エアー抜きの際は顔を近ずけないで、サービス缶を体の反対側に向け、
ブシュッと音が出て少量のガスがでる程度で充分です。
※必ず保護メガネ、保護マスク、保護革手袋等を着用してください。凍傷になる危険性があります。
4. 車両のエンジンを始動させ、A/C を ON にし最強冷最強風の状態にしてください。
※エンジン始動の際にはベルト回転部分やファンの近くに接続口がありますので充分に注意して
作業を行なってください。
5.③サービス缶のバルブを開いて必要なガス量を充填してください。
※目安としては車両のサイトグラスが白く濁った状態から透明になる位が目やすです。
（充填量は状態に異なりますのでご注意ください）
6. 充填作業が完了しましたら、③サービス缶バルブ、①低圧用クイックカプラーのバルブを閉じて取外してください。
※チャージングホースの中には残留ガスが残っていますので、取扱いには充分に注意してください。
※また冷媒ガスの大気放出は法律で禁止されていますので、必ず回収してください。
※冷え具合のチェックはチェックゲージや温度計を使用して確認する事をお勧めします。

R12 冷媒ガス充填方法

1.②チャージングホース、④サービス缶バルブにガス缶にセットしてください。
※②チャージングホースはムシ押のない方にサービス缶バルブを接続してくだい。
※ガス缶は封を切らない状態でセットしてください。
2.②チャージングホースを車両のエアコンシステムの低圧サービスポートに接続します。
そのチャージングホースの接続部分を軽く引っ張り確実に接続できているか確認します。
※確実に接続できていないとケガや故障の原因となります。
3. 次に④サービス缶バルブと②チャージホースの接続部をゆっくりとゆるめて
チャージングホース内のエアー抜きをして下さい。
※エアー抜きの際は顔を近ずけないで、サービス缶を体の反対側に向け、
ブシュッと音が出て少量のガスがでる程度で充分です。
※必ず保護メガネ、保護マスク、保護革手袋等を着用してください。凍傷になる危険性があります。
4. 車両のエンジンを始動させ、A/C を ON にし最強冷最強風の状態にしてください。
※エンジン始動の際にはベルト回転部分やファンの近くに接続口がありますので
充分に注意して作業を行なってください。
5.④サービス缶バルブを開いて必要なガス量を充填してください。
※目安としては車両のサイトグラスが白く濁った状態から透明になる位が目やすです。
（充填量は状態に異なりますのでご注意ください）
6. 充填作業が完了しましたら、④サービス缶バルブを閉じて取外してください。
※チャージングホースの中に残留ガスが残っていますので、取り扱いには充分に注意してください。
※また冷媒ガスの大気放出は法律で禁止されていますので、必ず回収してください。
※冷え具合のチェックはチェックゲージや温度計を使用して確認する事をお勧めします。